

第3回鹿野地域振興未来会議 議事概要

日 時：令和7年8月27日（水） 午後1時30分～午後3時55分
場 所：鹿野町総合支所 2階 会議室

【出席委員】

岡本洋一、森村繁一、長谷川誠一、兼平 恵、砂川重雄、上山秀雄、佐々木千代子、
筒井洋平、山根裕太、山名 修、田中奏子、津田夏海

以上12名（敬称略）

【欠席委員】 なし

【事務局】

＜鹿野町総合支所＞

小林支所長、西垣副支所長兼地域振興課長（併教育委員会事務局鹿野町分室長）、
國森産業建設課長、岡田市民福祉課長、宮本地域振興課課長補佐

【説明者】 ＜地方創生推進室＞西田室長、遠藤室長補佐
＜都市企画課＞三谷主査、竹内技師

【傍聴者】 なし

【日 程】

1 開 会

2 会長あいさつ

3 議 題

- （1）鳥取市総合計画及び鳥取市創生総合戦略の策定について（資料ダウンロード）
- （2）鳥取市景観計画改定に向けた取組みについて（資料ダウンロード）
- （3）気高循環バスの路線等変更について（資料ダウンロード）
- （4）津和野町との交流事業について（資料ダウンロード）
- （5）その他

4 報告事項

- （1）地域の未来づくり懇談会について（資料ダウンロード）
- （2）文化交流拠点の周辺整備について（資料ダウンロード）
- （3）新たな土砂災害が発生する恐れのある個所について（資料ダウンロード）
- （4）行事経過報告及び今後の予定について（資料ダウンロード）

5 その他

6 閉 会

◎議事概要

3 議題（１）鳥取市総合計画及び鳥取市創生総合戦略の策定について

説明者より資料１に基づき説明。

・ 第 12 次鳥取市総合計画及び第 3 期鳥取市創生総合戦略の資料を基に説明

【委員】計画は策定中なので、この場で意見を述べて修正することができるのか。

【説明者】個別の施策に入りたい事業や将来像に対するご意見をいただければ、内容によっては修正可能です。

【委員】ボリュームが多くて総花的な感じがする。具体的な内容やどこに色付けしていくなどの説明がないと、何に対してどう答えればよいか分からない。具体的な施策に対してもこれまでの結果や方向性を示さないと分からない。

【説明者】各施策については、数値目標や指標を入れて達成度が分かるようにしており、達成できなかった場合は引き続き取り組んでいくことにしています。また、市民のみなさまに施策の重要度と満足度の調査を行い、その結果を踏まえた計画としています。

【委員】今回の資料は基本構想や基本計画だが、もっと身近で具体的な実施計画がどのようなであったか。それがないと意見を出しにくい。

【委員】第 11 次総合計画の 5 年間の実績でうまくいった点、いかなかった点などの説明があれば分かりやすかったと思う。

【委員】PDCAのチェックの部分に行政評価について記載が書いてあったが、その評価は行政のみがするのか。中間、最終の評価について、どういったチェックをするのか。

【説明者】計画の 31 の施策に対し、指標とあわせて数値目標を設定しています。実施計画の具体的な取り組みの目標達成状況について、毎年チェックしながら新たな事業を取り入れるなどの見直しをしています。11 次総合計画の中間評価における具体的な例を挙げると、若者や子育て世代をターゲットとした移住施策では、毎年約 500 人の移住者のうち約 8 割が若者や子育て世代となっており、取り組みとしておおむね順調と認識している状況です。

【委員】具体的な例を説明していただき状況がよく分かった。

3 議題（２）鳥取市景観計画改定に向けた取り組みについて

説明者より資料２に基づき説明。

・ 各総合支所管内における重点区域の候補地選定の資料を基に説明

【委員】鹿野城跡公園のエリアには民有地もあるのか。

【説明者】民有地もあります。土地所有者にも理解していただく必要がありますので、

重点区域の追加については慎重に検討していく必要があります。

【委員】 鷺峰山の景観についてはどうなったのか。

【説明者】 気高、青谷地域の未来会議でも鷺峰山の景観について説明させていただきました。それぞれの谷ごとなど、鹿野地域だけでなく、気高、青谷地域も含めたエリアで鷺峰山の眺望景観の保全について引き続き検討させていただきたいと思います。今後は、12月～1月に予定しているパブリックコメントの実施等により計画改定の素案をみなさまに見ていただき、ご意見いただければと思います。

3 議題（3）気高循環バスの路線等変更について

事務局より資料3に基づき説明。

・ 気高循環バスの路線等の変更についてまとめた資料と路線図を基に説明

【委員】 期間乗車券（定期券）はどの区間が対象になるのか。

【事務局】 全ての路線が対象になります。

【委員】 青谷のバスも対象になるのか。

【事務局】 対象になります。

【委員】 逢坂小学校は浜村小学校に編入されるのか。鹿野の小畑、水谷方面は路線がなく空白エリアとなっている。セニアカーなどで移動する高齢者が増えてきているが、追加路線の検討はされないのか。

【事務局】 来年4月に逢坂小学校は浜村小学校に編入される予定です。小畑、水谷方面の路線については、共助交通という手段や昼間だけデマンドバスにするなど、引き続き検討が必要と考えています。小鷺河地区でも共助交通などを検討されていますが、今回の改定以降も必要に応じて路線を変更することができます。

【委員】 小畑、水谷集落には若者が少なく、共助交通のドライバーをしてもいいというような方はいないと思うが、引き続き検討してほしい。

【委員】 鳥取市気高町・鹿野町地域生活交通協議会は年に何回ぐらい、どこで開催されるのか。

【事務局】 定期的な開催ではなく、ダイヤ改正や地域の方の意見を聞くなどのタイミングで、年2回程度、夜に開催しています。会場は鹿野か気高の総合支所になるとと思います。

【委員】 協議会の会長は誰か。

【事務局】 協議会の会長は気高町自治連合会の池原会長、副会長は鹿野町自治会長会の三谷会長です。

※鳥取市気高町・鹿野町地域生活交通協議会委員の選出 → 筒井委員に決定

3 議題（４）津和野町との交流事業について

事務局より資料４に基づき説明。

・ 津和野町との友好交流事業の概要を基に説明

- 【委員】テーマは歴史でいいと思う。鹿野と津和野の歴史を伝えてほしい。細々でいいので交流を続けてほしい。
- 【委員】昭和60年からちょうど40周年なので記念行事をしてもいいのではないかな。鹿野から津和野に移り住んだ商人がいると思うので、一度調査してみたい。
- 【委員】他の町と交流することを反対する人はいないと思うが、歴史のテーマのネタがなくなったのであれば、違うテーマを探せばいい。
- 【委員】以前は小学生の交流をしていた時期もあった。町民に今の交流の状況を説明し、意見やアイデアを聞いてみてはどうか。
- 【委員】子どもたちが楽しんで両町の歴史を勉強できるようなことをしてほしい。
- 【委員】津和野に行ったことはないが、津和野と聞けば関わりがあるという意識がある。何とか交流を継続してほしい。
- 【委員】毎年でなく2、3年に1回という方法もある。まちづくりに関するテーマがいいと思う。
- 【委員】私は移住者なので津和野との繋がりを知らない。オンラインでの交流も取り入れながら、子どもたちを中心とした交流をしてみてはどうか。地域の伝統文化である鹿野祭りや鷺舞いをテーマにしてもいいと思う。
- 【委員】亀井さんと縁のある地域との交流は続けてほしい。鳥の劇場などの演劇をテーマにしてはどうか。
- 【委員】今年、鳥取市と郡山市との友好交流が20周年、鳥取市と岩国市との友好交流が30周年ということで、先日、両市長が鳥取市を訪れ盛大に記念式典が行われた。鹿野と津和野の交流はそれよりも長い40周年ということに驚いた。郡山市との交流では、コロナ前は小学生が行き来していたが、コロナ後はオンラインでの交流となっている。鹿野学園に通う私の子どもが授業で亀井茲矩を学んでいたのも、夏休みの自由研究でも亀井茲矩をテーマに研究に取り組んだ。亀井茲矩を学ぶ学年を中心としたオンライン交流を行い、津和野との交流を深めてはどうか。
- 【委員】最近是一般市民が参加する交流をベースにテーマを考えてきたようだが、将来のある子どもたちの交流のほうがいいと思う。平成18年に津和野町が合併し、小学5年生の学級数が倍増したことが原因で2泊3日の交流が中止となったようだが、現時点の学校の状況を確認したうえで、もう一度、小学生の交流が再開できないか検討してほしい。
- 【委員】住民の方でやりたいことがあるのであれば続けられればいいと思う。事務局がす

ることに困るような交流事業ではダメだ。例えば、両町のマラソン大会や亀井さんを演目にしたミュージカルなど、行政を離れて市民レベルで交流をしたいという機運が高まってから再開してもいいと思う。オンラインで交流するなど、現地で交流するのは3年に1回ぐらいでもいい。

【委員】訪問する町がテーマを考えるのではなく、オンラインなどで両町一緒に考えるようにすればいいと思う。

4 報告事項（1）地域の未来づくり懇談会について

事務局より資料5に基づき説明。

・地域の未来づくり懇談会の課題シートを基に説明

【委員】有意義な懇談会であったが、話題が多岐にわたっていたので担当課の職員にも同席してほしかった。

【委員】7月の若者座談会では、幅広い世代で飲食しながら話すことができ、楽しく話すことができた。1回で終わるのはもったいないので、これからも続けられるよう検討している。

【委員】若者座談会は、自己紹介で終わってしまうほど盛り上がり、大変有意義であった。また開催してほしい。未来づくり懇談会ではいろいろな補助金を提案していただいたが、その補助金で何をしようというところまでの話しにはならなかった。引き続き話し合える場を設けてほしい。

【委員】参加ではなく傍聴させてもらった。若い女性の参加が多く、婚活、空き家、移住、観光などのまちづくりについてたくさん意見が出された。農業に関わっている若者の参加がなかったのが残念であった。

【委員】未来づくり懇談会は少し固い雰囲気だったので参加者がよそ行きの感じがしたが、みなさんが日頃から鹿野のことを想って暮らしているということが分かった。若者座談会は楽しかったようなので、今後そういった会があれば自分も参加してみたい。

【委員】この未来会議でも若者座談会や未来づくり懇談会の続きの話しができるような場にしていきたい。

【事務局】今後、町内イベントの日程調整とあわせて、未来づくり懇談会と同じようなメンバーで集まることができる機会を設けたいと思います。

4 報告事項（2）文化交流拠点の周辺整備について

事務局より資料6に基づき説明。

・旧鹿野小学校跡地利活用検討委員会の会報を基に説明

委員からの質問・意見等、特になし

**4 報告事項（３）新たな土砂災害が発生する恐れのある個所について
事務局より資料７に基づき説明。**

・鳥取県が作成した土砂災害のチラシと位置図を基に説明

【委員】土砂災害警戒区域は変更ないか。

【事務局】今の時点で変更ありませんが、新たな土砂災害が発生する恐れのある個所に対する今後の調査結果により、土砂災害警戒区域に加えられる可能性があります。

【委員】鹿野学園王舎城学舎のグラウンドが急傾斜地の崩壊エリアに入っているようだが、グラウンドが王舎城学舎の避難場所に指定されている。避難場所を城跡公園の東側駐車場に変更するなど、鹿野学園と話しをしてほしい。

【事務局】確認します。

【委員】災害時、鹿野町内の避難所の位置と備蓄品の状況を教えてほしい。

【事務局】避難場所については、数年前に全戸配布した総合防災マップに記載されていますが、次回の未来会議で報告させていただきます。

**4 報告事項（４）行事経過報告及び今後の予定について
事務局より資料８に基づき説明。
委員からの質問・意見等、特になし**

5 その他

【委員】いよいよ稲刈りが始まる。累計温度 1,000 度になれば発芽すると言われていたが、今年は 1 週間程度早い。雨が降らないので農業用水路の水不足の問題が深刻になっている。米作り体験をしている鹿野学園の水田も不作の可能性があるが、子どもたちにも教育の一環として農業の厳しさを伝えていきたい。

【委員】次回の未来会議は 10 月の予定のようだが、議題が少なければ 11 月と併せてもいいのではないかと。また、会議だけでなく視察に行ってもいいのではないかと。

【事務局】今年度の視察の予算はありませんが、町内の施設を見てまわる管内視察はできます。会議の内容も含めて次回の開催日程を会長と決めさせていただき、改めてお知らせしたいと思います。